

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0304	政策名	スポーツの振興	施策主管課	スポーツ振興課	課長名	菅原 一憲
政策の目指す姿	いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、元気に活動しています						
施策No	03	施策名	大規模スポーツ大会の開催	関係課名			
施策の目指す姿	スポーツ交流が拡大し、スポーツへの関心が高まっています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模スポーツ大会やイベントの入込者数は減少していますが、東北大会以上の開催件数は横ばいの状態です。 合宿の誘致件数は横ばいの状態です。 各スポーツ施設の老朽化が進んでおり、改修や高規格化が望まれています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化や施設の有効利用の観点から、大規模スポーツ大会やイベントの誘致が必要です。 当市の交通の利便性やスポーツ施設の優位性を生かした合宿誘致が必要です。 各スポーツ施設の計画的な改修が必要です。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 大規模スポーツ大会や合宿誘致については、いわてスポーツコミッションや近隣市町村とも情報交換しながら検討を進めるとともに、スポーツコンベンションビューローを通じて旅行会社と連携を図りながら誘致を進めていく。 スポーツ施設の環境整備については、優先度の高いものから順次計画的に整備を進め、利用環境の向上を図る。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> いわてスポーツコミッション主催の合宿相談会については都合がつかず欠席となったが、スポーツコンベンションビューローの誘致活動としては、首都圏や仙台の旅行会社を訪問し情報収集等を行ったほか、首都圏の旅行会社を招待し市内のスポーツ施設や温泉宿泊施設の現地調査を行った。なお、スポーツ合宿については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらボート日本代表、東京経済大学硬式野球部、東京外国語大学漕艇部、上智大学硬式野球部、東京大学男子バスケットボール部、東京大学アイスホッケー部の合宿の受入れを行った。 スポーツ施設の環境整備については、計画的な施設の改修・整備に努めたことにより、利用環境の向上が図られた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) スポーツイベント・大規模大会の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> はなまきスポーツコンベンションビューローを核としたスポーツ大会の誘致と開催支援 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、日本スポーツマスターズ2022岩手大会のバレーボール競技とソフトボール競技の2競技を開催した。 広域的な連携による国際スポーツ大会の誘致推進 <p>(2) 合宿の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 関東圏等からのスポーツを含む合宿の誘致 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ボート日本代表のほか、東京経済大学硬式野球部、東京外国語大学漕艇部、上智大学硬式野球部、東京大学男子バスケットボール部、東京大学アイスホッケー部の6件の受入れを行った。 広域的な連携による合宿の誘致推進 <p>(3) 大規模スポーツ施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模大会などに対応した施設の計画的な改修 鉛温泉スキー場リフト修繕(22,495千円) ・総合体育館中央監視システム更新(7,700千円) ・北湯口野球場内野グラウンド整備(3,905千円) ・花巻球場屋内練習場改修実施設計(3,267千円) ・ハーフマラソンコース公認検定(395千円) など 新たなスポーツ施設の整備調査・検討

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
大規模スポーツ大会やイベントの入込者数	スポーツによる交流人口が拡大し、スポーツ交流の機会の充実度を示す指標	市スポーツ振興課が把握する数値次のスポーツ大会やイベントに係る入込者数 (1) 東北規模以上のスポーツ大会 (2) 1千人以上の入込のある県大会 (3) スポーツ興業やスポーツイベント	千人	目標値		134.00	134.00	134.00	134.00	
				実績値		45.00	41.00	52.00		
市内での東北大会以上の大会開催数	市内で開催される大会数そのものは減少していないことを踏まえて、東北大会以上の大会数を指標に加えた。	はなまきスポーツコンベンションビューローの資料による。	大会	目標値		38.00	38.00	38.00	38.00	
				実績値		16.00	13.00	17.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「大規模スポーツ大会・イベントの入込者数」…【達成度 c】 新型コロナウイルス感染症の影響により、競技によっては無観客での開催や人数を制限しての開催となった大会があったことから目標達成できなかった。 ■成果指標「市内での東北大会以上の大会開催数」…【達成度 c】 新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的に大会の開催数が少なかったことから目標達成できなかった。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(スポーツ大会・合宿誘致推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致については、宿泊客の増加など市内の経済への波及効果が見込まれることから、引き続き積極的な誘致活動を推進する。 (スポーツ施設環境誠意事業) ・大規模なスポーツ大会等に対応するため、また、快適で安全な利用環境を整備するため、継続的かつ計画的に施設の改修を進める。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿を通常どおり誘致することができるようになったことから、更なる誘致活動を推進することが必要である。 ・スポーツ施設の改修等については、これまでも行ってきたところであるが、利便性や安全性を確保するため、また、大規模なスポーツ大会にも対応できる施設とするため、引き続き計画的に整備を進めていく必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なスポーツ大会誘致やスポーツ合宿誘致については、はなまきスポーツコンベンションビューローを通じて旅行会社との連携により進めるとともに、いわてスポーツコミッションとの情報共有や、各競技協会との連携により推進する。なお、スポーツ合宿の誘致にあたっては市民の利用の妨げにならないよう配慮する。 ・スポーツ施設の環境整備については、利用者の安全確保や利便性の向上、効率的な維持管理を行うため、優先度の高いものから計画的に修繕・整備を行っていく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	スポ振興	一致	直結	C
	はなまきスポーツコンベンションビューローのスポーツ大会や合宿誘致活動支援 (東北大会以上の大会開催数 R4:17大会 R3:13大会 入込者数 R4:52,030人 R3:41,424人)			A	
020	スポーツ施設環境整備事業費	スポ振興	一致	直結	C
	施設の改修・修繕等(施設整備数13施設) (施設利用者数 R4:494,665人 R3:401,453人)			A	
050	日本スポーツマスターズ2022岩手大会開	スポ振興	間接・少数	間接・補完	-
	花巻会場の2競技(バレーボール、ソフトボール)の参加者へのサービスと競技会の盛り上げを図るため市独自のおもてなしの実施 (おもてなし事業委託数 2件)			C	